

事業計画書

1. 事業名称 パパ手帳を使った男性への育児支援事業

2. 実施主体

- 団体名：特定非営利活動法人子育て支援ぽこら
- 事業担当課：女性センター

3. 取り組もうとする課題

(どのような問題を解決することを課題としたのか。その背景なども含めて記載してください。)

○ 背景 育児をしている親たちには、固定的性別役割分担意識がまだ根強くみられるようである。

松戸市の男女共同参画社会に関する意識調査（H. 18）でも「男は仕事、女は家庭」という役割分担を支持する割合が女性 32.3%、男性が 45.9%である。

民間企業の調査では平均的な夫婦の育児分担は夫 2 割・妻 8 割で、理想は夫 4 割・妻 6 割である。

また、松戸市男女共同参画プラン、第 3 次実施計画の重点施策 3 に、[家庭生活へ男性の参画を促進します。（基本施策 14）] が掲げられている。

現状 幼い子を持つ親たちは、育児は夫婦共に参加するものだと認識している。しかし、父親が育児をしたいという思いがあっても、育児に参加することができていない。

○ 問題点 父親は在宅時間が短く、必然的に子どもと接する時間が短くなってしまっている。

母親は、父親に育児その他の手助けがほしくても、忙しく大変な父親に言うことができない。

このため、両親とも父親の育児参加をあきらめてしまい、父親は育児のHOWTOを知ることができない。

○ このままでは、父親も母親も子育てに関してつらい状況のままである。

以上のことから、父親が効率よく育児にかかわることができるような、情報やきっかけを『パパ手帳』をとおして提供し、男性をはじめとする子育て中の人の意識の啓発を図ることを課題とする。

4. 事業内容及びスケジュール

(3 の課題に取り組む上で、実施する事業及び具体的なスケジュールを記載してください。)

(父親のための育児手帳：通称・・・パパ手帳)

22 年度に作成した『パパ手帳』を広く父親に利用してもらえるようになるかを中心に計画をたて

た。(手帳には、父親が育児や母親の助けとなるようなヒントなどが記載されている。)
 パパ手帳の配布、普及につとめるとともに、父親に向けて育児にスムーズにかかわるような助けとなる講座（女性センターが毎年行っているイクメン講座）に関わる。
 その際、22年度にボランティアとして養成したスタッフとともに活動をする。

※実施する事業が、課題に対応していることを説明してください。

(日程、場所、実施内容を具体的に記載してください。)

日程	具体的な取り組み	実施体制、対象者、場所など
春・秋	イクメン講座（毎年、女性センターが開催）の中で1回ずつ講座を受け持ち、その時間内に手帳の普及のための時間も設ける ベビー・ヨガ講習 手作りおもちゃ講座 講座の終わりには父親同士の話し合い、情報交換	場所・・・女性センター 対象・・・父親・母親 講師（ベビー・ヨガインストラクター おもちゃインストラクター）
月1回	保健センターでおこなわれる、パパ・ママ学級で時間内か講座後に約5～10分間時間をいただいて、配布・手帳の使い方実例を説明する	市内4ヶ所の保健センター プレパパ・プレママ
施設開催中	子育て支援施設内に置いてもらい、依頼があればパパ・ママ学級で行うような説明をさせてもらう。	おやこDE広場 子育て支援センター
	助産師さんへの配布と説明をし、新生児訪問の際、紹介してもらう	新生児をもつ保護者
	モニターを依頼し、実際に手帳を使用したナマの感想を聞く	乳幼児をもつ父親
秋頃	アンケート調査を行い、手帳について意見、感想を集め、次年度の活動へつなげる。	子育て支援施設利用者・スタッフ

5. 事業に期待する成果

(事業を実施する上で、どれだけのことを達成したいのか。その目標を数値などで記載してください。)

『パパ手帳』を講座や説明などによる啓発を行いながら、500部配布することを目標とする。

父親が短時間でも効果的に育児に参加できるということを知ってもらう。
このための一方策として『パパ手帳』の普及を提案する。
母親のフォローや身近な方法で育児にアプローチできる
『パパ手帳』の検証をすすめていくうえで、モニター調査を 5～10組ほどの父親に依頼。実際に使用してもらい、意見・感想をもらう。
アンケートは市内 14ヶ所の広場・計約 300枚実施。
育児支援者である、助産師さんや、市内 4ヶ所の保健センターの職員からの意見・感想を聞き取る。
親がともに子育てをする・・・男女共同参画の考えにもマッチする。

6. 協働の意義

(協働の必要性、協働で事業に取り組むことの効果、提案者や市のメリットなどを記載してください。)

※事業の実施、目標とした成果を挙げる上で、協働で取り組む必要があることを説明してください。

提案者

○ 手帳の信頼性、公共性を得ることができる。
配布先を行政機関にお願いすることは、安心して効率よく利用者の手元に届けることができる。
普及活動により、手帳を配布するだけでなく、手帳の利用の仕方や父親の育児への参加を積極的に働きかけることができる。

担当課

常に子どもを持つ親に接している提供者が手帳の配布・普及・アンケートのまとめなどを、行えば、時間がかかると思われる作業を、短時間にスムーズに意見の吸い上げまでできる。
また、松戸市男女共同参画プラン第3次実施計画の推進につながる。

7. 事業実施の役割分担

■ 提案者の役割

○ (提案者が行うこと)を具体的に記載してください。)

手帳を普及させるための広報活動
その際、使用するリーフレットの作成
情報の収集
手帳に関するアンケートの実施
手帳普及のための講座を実施

■ 担当課の役割

(市が行うこと)を具体的に記載してください。)

手帳の信頼性と公共性
手帳を普及する場の提供や助言
男女共同参画の視点をもった情報の提供と助言
講座内容の助言

8. 将来の展開

(このモデル事業の成果をどう活かし、今後、事業展開していきたいのかを記載してください。)

※今年度提案する事業又は、モデル事業期間（3年を限度に申請が可能）に期待する成果を活かし、

今後、どのように事業展開していきたいのかを説明してください。

来年度に関しては、女性センターが毎年開催している、イクメン講座の一つを利用させていただき、『パパ手帳』の普及に努める。

その後については、イクメン講座との連携を視野にいれ、男性の育児への参加を促すことを考えていきたい。



事業の予算計画

【社会資源持ち寄り（収入）】

(単位：円)

提案者	(自己資金) 会費	金額	積算内訳
		35,000 円	会員会費から 2,500 円×12 人 賛助会員費から 1,000 円×5 人
	自己資金合計 (a)	35,000 円	
	労力換算額計 (b)	181,000 円	労力換算計算書のとおり
市	負担金申請額 (c)	134,850 円	
	資金合計額 (d) (a+c)	169,850 円	事業費 (g) と同額

○ 【負担金申請額 (c) チェック項目】

1. 対象となる経費 (e) 欄の 90%以内
2. 1 事業あたり 50 万円以内
3. 自己資金 (a) 欄に労力換算額 (b) 欄を加えた額以下であること。

○ 【事業費の積算（支出）】

項目	金額	積算内訳
○ 負担金の交付対象経費	講座講師料	20,000 円
	ボランティア保険代	4,000 円
	消耗品	30,000 円
	リーフレット印刷代	80,000 円
	保育料	21,250 円
	対象となる経費合計額 (e)	155,250 円
○ その他経費	スタッフ飲食費用	2,000 円
	スタッフ交通費	12,600 円
	その他経費合計額 (f)	14,600 円
	事業費 (g) (e+f)	169,850 円
		収入合計額 (d) と同額

労力換算計算書

(単位:円)

項目	換算額	積算内訳
活動計画		人数×時間×回数×500 円
イクメン講座打ち合わせ	9,000 円	3人×3h×2回×500 円
広報活動のための会議	100,000 円	10人×2h×10回×500 円
打ち合わせ会議（事務局）	33,000 円	3人×2h×11回×500 円
広報活動	36,000 円	2人×2h×18回×500 円
反省会	3,000 円	3人×2h×1回×500 円
労力換算額		
合計 (b)	181,000 円	